

飯南

議会報

い
い
な
ん

第62号
令和2年7月20日

- 02 6月議会報告 可決された議案
町長・教育長に申し入れ
- 03 新型コロナ対策支援予算
各会計補正予算
- 04 一般質問
- 08 新型コロナウイルスに思う
- 09 討論 採決の結果
- 10 常任委員会報告
全員協議会の議題 議会活動報告
- 12 明日を拓く



令和2年

6月定例会を終えて

6月9日から19日までの11日間で開催

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が全国に拡大。本町でも社会活動と経済活動に深刻な影響をもたらした。5月25日に緊急事態宣言は全面解除され、「新しい生活様式」の中で活動が始まりつつある。

可決された議案

条例関係

飯南町税条例の一部を改正する条例の制定など6件

承認

令和元年度飯南町一般会計補正予算(第8号)など7件

予算

令和2年度飯南町一般会計補正予算(第3号)など8件

諸議案

- ・農業委員会の委員の選任14件
- ・令和2年度(交付金)新衣掛団地3期建設工事請負契約の締結など2件
- ・財産(除雪ドーザ)の取得など4件

報告

令和元年度飯南町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告など3件

新型コロナウイルス対策 支援予算

新型コロナウイルス感染予防に資する予算、深刻な経営を余儀なくされている事業者への支援予算、経済活動を後押しする予算などを承認した。主なものは、次のとおり。

●感染症予防事業

1237万円

●特別定額給付金給付事業

4億8800万円

●ふるさと応援宅配便助成金事業

217万円

●商業活性化重点支援事業

1億3720万円

・商工業者応援金

・飯南町元気回復事業

・新型コロナウイルス対策雇用継続応援金

●肉用牛生産振興事業

600万円

●子育て世帯臨時特別給付金

600万円

【令和2年度 各会計補正予算】

一般会計 7億4214万円 増額

新型コロナウイルス対策として特別定額給付金給付事業4億8800万円の増額、商業活性化重点支援事業1億3720万円の増額、感染症予防事業1237万円の増額及び4月・6月豪雨による災害復旧費1857万円の増額など

各 会 計		補正予算額	予 算 総 額
一 般 会 計		7億4214万円	80億4255万円
特別会計	国民健康保険事業	79万円	6億1487万円
	介護保険サービス事業	18万円	3826万円
病 院 事 業		392万円	12億8586万円
簡 易 水 道 事 業		63万円	3億3156万円
下 水 道 事 業		53万円	5億3719万円

町長・教育長に申し入れ

新型コロナウイルス感染症拡大の対応について、4月27日、議会から町長と教育長に次の3項目を申し入れた。

- ① 小学校低学年の休校見直しと飯南高校との連携対応
- ② 町内事業者への支援
- ③ 特別定額給付金の早期支給



一般質問

6月定例会



景山 登美男 議員

Q 新型コロナウイルス対応の避難計画を

今年は、新型コロナウイルスが収束していない中で避難勧告等を発令しなければならぬことが想定される。

そのため、住民が「密」を避けて避難する必要がある場合などのために、現在の避難場所に加え、町内の宿泊施設などを新たな避難先として使用できるようにしておく必要がある。親戚や知人宅に避難するとか、自宅に留まることも選択の一つになるかも知れない。

今のうちに、新型コロナウイルスに対応した避難計画を検討しておくべきでは。



指定避難所のひとつ(赤名農村環境改善センター)

A 事前の備えに万全を

町長 山崎 英樹

災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則だ。そのため、町内の宿泊施設を確保するとともに、中山間地域研究センターもお願いしている。場合によっては、親戚知人宅への避難もあり得る。感染防止対策という課題を抱えながらの避難となり、住民への周知徹底と事前の備えに万全を期す。

Q 農業者にも支援を

町民の努力で、本町では新型コロナウイルスへの感染が無く誰もが安心した。

国の2次補正予算成立を受け、農業者を含めた全町民の支援ができないか。

A 状況に応じて検討

町長 山崎 英樹

農業者は、農業共済の収入保険制度、国の持続化給付金制度が利用できる。農産物直売所へは、商工業者支援制度の対象とし支給した。

この分野は季節的な収入が多く、今後の状況に応じ、国・県事業の活用や関係機関と連携し支援を検討していく。



農業者への影響が懸念される

Q 避難所運営の再検討を

防災計画の避難所運営で、ペットの扱いについて記載されていない。家族同様のペットは、避難所に連れて行きたいはず。受け入れできるか否かを周知しておかなければ、トラブルの原因になるのではないか。

避難所で、いわゆる3密を避けるには、現在の施設では無理がある。早期に代替えか追加を検討すべきではないか。

さらに、被災時に支援をいただく商店等の記載があるが、現在営業していない所もある。緊急時に慌てないよう、再度検討すべきだと思うがどうか。

A 状況を踏まえ整備する

町長 山崎 英樹

ペットの扱いについては、以前の一般質問で今後検討する旨の答弁をしているが、運営マニュアル策定には至っていない。従って、国の避難所運営ガイドラインで示す飼い主の自助を基本とする。

Q 臨時休校中の子どもの居場所づくり

新型コロナウイルス感染防止のため、小学3年生から中学3年生は臨時休校としたものの、小学1・2年生は登校した。その後の見直しで、小学校を全校休校するとともに、全学年を対象に特別な事情がある児童を預かる居場所づくりを行った。

夏から秋にかけての豪雨や台風、冬の大雪などによる突然の臨時休校でも、そうした対応ができないか。

A ファミリーサポートセンターの活用を

教育長 矢飼 斉

大雨や大雪・台風などの自然災害等に伴う突然の臨時休校時に、子どもが自宅で一人で過ごすことが困難な場合は、保健センター(来島)にあるファミリーサポートセンターを活用して欲しい。



中山間地域研究センター

本年は、新型コロナウイルス対策下での防災対策が必要で、災害時には危険な場所から避難することが原則であるが、避難所では3密を避けるため、レイアウト変更、感染予防対策が県から示されており、対応に努める。

本町では、自治集会所等70カ所を指定緊急避難場所としている。今は追加施設はないが、必要に応じて町内宿泊施設、中山間地域研究センターを使用することで了解を得ている。

防災計画の中の「食糧・物資の調達先一覧」に営業していない店舗があり、修正する。

新型コロナウイルスへの対応という新たな状況を踏まえ、防災計画を整備し、住民の安全確保に努める。

Q 新しいごみ分別の見直しは

今年4月からごみの分別方法が変更されたが、大変不評だ。

特に分かりにくいのがプラスチック類で、可燃ごみと不燃ごみの両方があり、分け方の基準が不明確。配布の分類表のとおりにするしかない。

どちらかに統一することができないか。

A 分別の変更は無理

町長 山崎 英樹

雲南エネルギーセンターでは、可燃ごみをRDF(固形燃料)の原料として利用しているため、新しい分別となった。

飯南町だけ分別方法を変えることは不可能であり、慣れていたくない。

一般質問

6月定例会



安部 丘 議員

Qアフターコロナ

課題と対応

新型コロナウイルス感染拡大には全国が震撼した。本町では、皆さんが感染拡大防止対策に取り組まれたお陰で、感染なしで第一波を乗り切ることができた。

秋には再拡大の懸念もあるが、課題は残っている。中でも看護師や介護従事者の不足について危惧する。「医療および福祉従事者確保対策助成金」は、長期継続的な人材確保には有効だが、今は短期間で人材を集め、病院や福祉事業の体制に余力を持たせて次への備えとするといい。飯南病院や地域包括ケアセンターが受け皿となり人材を確保できれば、不測の事態に対応する上で大きな助けとなる。

都市部では福祉施設の廃業も多く、地方勤務希望者も増加している。町外・県外に積極的な求人活動を展開するチャンスだ。

町内の商工事業者も大きな影響を受けた。早急な回復は期待できず、今後の状況次第では追加支援も必要だ。この苦



境下に堪え忍ぶだけでなく、新しい日常に対応していくために業務改善を進める会社がある。人の移動や密集を避けるため、グループウェアを導入したり、商談にオンライン会議を検討される事業者もある。2年をかけ全戸光ケーブル化を実現し、都市部に勝る通信基盤を整備した賜物だ。

有効活用した町独自の支援策を打ち出し、「新しい日常を

A推進に向け検討

町長 山崎 英樹

新型コロナウイルスへの対応を目の当たりにし、医療、介護、福祉の人材確保に一層力を入れていく必要があると感じた。これまでの人材確保の取



オンライン面会もひとつの新様式

組みに加え、福祉施設協議会とともに外国人材の活用も進めたが、課題の解消には至っていない。

都市から地方への人の流れは、この機を逃してはならないと強く思っている。柔軟に働ける「働き方改革」を推し進め、人が人を呼ぶ好循環となるよう取り組む。

光ケーブルの活用では、「オンライン移住相談体験プログラム」を整備し、県外移動の制限下でも、移住希望者への紹介を進めている。町出身大学生も、休校中は実家でオンライン授業を受けていると聞く。

町独自の支援は、国の助成事業を視野に、実情を聞きながら検討する。

一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

Q感染対策と自然災害

災害時には新型コロナウイルス対策をしながらの避難が予測される。災害の規模による命の危険度合いと感染リスクの判断基準、発熱・咳などの症状が出ているときの避難所への行動判断基準、3密を避ける対策、備品の確保をどうしているのか。

自治体が避難所を開設すると同時に、住民が自ら避難をどうするか考える必要がある。避難場所を住民自ら選択し、準備することが重要と考えるがどうか。

自分は大丈夫という考え方が、住民の真剣な対応を阻害している。これを払拭するため、自治体として尽力することが非常に重要な側面を持つと考えるがどうか。



ハザードマップを見ながら…

A自主的避難を

町長 山崎 英樹

警戒あるいは身に危険を感じた時は、まず避難である。健康状態を確認し、発熱・咳症状の人は、町の指定避難所に然るべきスペースを設け避難してもらう。

3密対策はパーテーション（仕切り）の設置、簡易ベッドなどを準備し、避難所のレイアウトを工夫して対応する。

これまでの備蓄に加え、非接触型の体温計やパーテーション、そして簡易ベッドを準備する。

住民には更に危機感をもってもらい、日頃から防災について家族や地域で話し合うことが重要である。地域の防災力を高めるため、地区ごとに育成が進んでいる防災士のネットワークを広げ、身近なところで防災について語れる場を設けるなど、二層の防災意識向上の仕組み作りを進めていく。

自主的な避難先を平素から考えることがとても大切である。

Q長期休校の影響は

学習や体力への影響と対策を問う。中学校3年生には特段の配慮が必要ではないか。

就学援助世帯への休校中の昼食代補助を実施すべきと思うがどうか。



休校中の来島小学校

A問題解決に努力

教育長 矢飼 斉

休校期間中に、真剣に取り組んだ児童生徒が多数いる一方で、生活リズムの乱れにより学習に取り組めなかった児童生徒も数名はあった。運動量は明らかに少なくなっており、体力や持久力の低下が多く見られる。

夏休みを9日間短縮し、早期に取り戻しを図るよう進めている。体育の授業や部活動で調節を行い、体力の回復に努める。

中学校3年生ばかりではないが、学校の勉強も家庭での勉強についても対応していかなくてはならない。

就学援助の認定世帯では、臨時休校中の児童生徒の昼食代が負担増となっている。本町においても必要な支援を行う。



新型コロナウイルスに思う

新型コロナウイルスは、昨年12月に中国武漢市で感染の発生が発表されて以来、瞬く間に全世界に拡散しました。

本町は、2月6日に「飯南町新型コロナウイルスに関する連絡調整会議」を設置し、情報の収集と住民周知に努めました。その後は、町民の皆さんのご理解とご協力で、一人の感染者も出さずこれまでを乗り切ることができました。厚く御礼申し上げます。

国は、6月19日に全国の移動解禁を行いました。都市

部ではいまだに感染者が発生しており、引き続き気を引き締めて、手洗いの励行やマスクの装着など「新しい生活様式」を実践して行かなければなりません。

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、日本経済は大きな危機に瀕しています。このままの状況が続けば、雇用環境のさらなる悪化、先行きの不透明感による消費の減退など、経済への影響は計



来島地区の防災拠点となる来島拠点複合施設



感染予防対策をとった授業



避難訓練の様

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、あらゆる危機を想定し、どう対応すべきかを整理しておく必要があります。これを機に本町でも、各家庭に配布してある「防災対策ガイドブック」を早急に見直すとともに、防災に備える体制強化や防災訓練の充実を図ることが望まれます。

この難局を乗り越え「安全・安心のまちづくり」を更に進めていくために、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

り知れないものとなります。こうした状況に国は、経済対策にも力を入れ始めました。これまでの身を守る行動とともに、経済を守る行動が求められます。国や県・町の支援策を活用することが、自身を守るとともに地域を守る一助になるものと思われま

す。本町では独自の施策を打ち出し、町民や事業者の皆様への支援に力を注いでいま

討論

飯南町国民健康保険条例の一部改正

新型コロナウイルスに感染した等の被保険者に、傷病手当金を支給できるように改正する(改正前：国保からの傷病手当金の記載なし)

賛成討論 伊藤 好晴 議員

今回の条例改正は歓迎だが、個人事業主やフリーランスが対象外となっており課題が残る。

私が調べた限り、岐阜県飛騨市と鳥取県岩美町は、個人事業主も対象に含めることになったと聞く。本町においても検討すべきと考える。

賛成討論 熊谷 兼樹 議員

支給対象者は限定的だが、傷病手当金の支給は極めて重要。ただし、国保から支給した金額を、雇用する事業主から徴収することには課題が残る。

新型コロナウイルスに限らず傷病手当金が支給されるよう、町長から国に要望し改善に努めていただきたい。

採決の結果

〔6月定例会〕

議案の採決結果は次のとおりです。

件 名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門 眞 一郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
農業委員会の委員の選任(14件)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町税条例等の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第6号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町手数料条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町自動運転長期実証実験に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度(交付金)新衣掛団地3期建設工事請負契約の締結	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(除雪ドーザ)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(町営バス車両)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(飯南町消防ポンプ自動車)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(飯南高校支援公用バス車両)の取得	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町の辺地に係る総合整備計画の変更	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町下水道事業会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔追加提案〕

件 名	結果	小野 覚	伊藤 好晴	瀧尻 行雄	門 眞 一郎	熊谷 兼樹	内藤 眞一	高橋 英次	景山 登美男	安部 丘
令和2年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度飯南町病院事業会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対

常任委員会報告

教育経済常任委員会

委員長 門 眞一郎



赤来中学校グラウンド法面崩落現場視察

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

商業活性化重点支援事業 2755万円

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や活動自粛などの影響を受けている町内商工業者に対し、新型コロナウイルス対応応援金を支給する。

従業員数9名以下10万円、10名から19名15万円、20名以上20万円の支給をする。

対象事業所は250事業所、現在申請151事業所、支給114事業所である。

事業者が継続して事業を行うことを支援するためのものであるため、再度の通知と期限の延長を求めた。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第4号)

商業活性化重点支援事業 7528万円

1) 飯南町元気回復事業 2978万円

飯南町元気回復券は商品券3千円と飲食券3千円のセットを全住民に支給し、町内の商店や飲食店で買い物と食事をしていただき、元気につなげていく。元気回復券は郵送で全戸に配布する。

2) 飯南町雇用継続応援金 4550万円

新型コロナウイルスの影響による自粛等により、3月から8月の間に1500万円以上売り上げが減少した事業所に、減少額に応じた応援金を支給する。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

肉用牛生産振興事業 600万円

ふるさと応援基金を財源とし、和牛繁殖農家に母牛1頭当たり3万円を200頭に対して支給する。

子牛1頭の平均単価を60万円とし、その5%を算出基準としているが、農家の状況は厳しく、更なる上乗せ支給を強く求めた。



飯南町和牛共進会

全員協議会の議題

令和2年4月21日(火)

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②新総合振興計画等について

令和2年5月26日(火)

- ①新型コロナウイルス対策について
- ②旧東上住宅の売却について
- ③J ークレジット制度の活用について

令和2年6月18日(木)

- ①国の2次補正に係る新型コロナウイルス関連補正予算について
- ②定住促進住宅整備事業について

常任委員会報告

総務厚生常任委員会

委員長 高橋 英次



定住促進住宅建設予定地(旧来島診療所跡地)を視察

飯南町国民健康保険条例の改正

新型コロナウイルス感染等の国保被保険者である従業員に、傷病手当金を支給するもの。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

【歳出】 感染症予防事業 649万円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回のマスク配布と3回のチラシ配布をおこなった。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第2号)

【歳出】 特別定額給付金給付事業 4億8800万円

町民一人当たり10万円を給付した。

地域振興臨時管理費 217万円

ふるさと応援宅配便助成金事業を創設し、地元農産物などを送る際の送料を全額助成する。クール便にも適用するよう求めた。

子育て世帯臨時特別給付金給付事業 600万円

児童手当を受給する0歳から中学生のいる世帯に対し、対象児童一人につき1万円を支給する。

令和2年度 飯南町一般会計補正予算(第3号)

【歳入】 町有土地売却収入 453万円

旧東上住宅の土地及び住宅を売却する。

【歳出】 その他町有財産臨時管理費 478万円

旧東上住宅売却に伴い、事務所および倉庫を解体する。

定住促進対策事業 300万円

定住及び雇用促進条例に基づき、旧東上住宅の整備費の一部を助成する。



旧東上住宅

議会活動報告[4月～6月]

4月 2日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
8日 議会広報編集委員会(紙面校正作業)
21日 全員協議会

5月 26日 全員協議会

6月 4日 議会運営委員会(6月定例会の提出議案、日程ほかの協議)
9日 6月定例議会:本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
12日 :本会議、一般質問
15～17日 :委員会審査
18日 :委員会審査、予算特別委員会審査
:全員協議会
19日 6月定例議会:本会議、討論、採決
24日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)
29日 議会広報編集委員会(議会広報紙編集作業)

パンに情熱を!!

パン作りの魅力と抱負を聞きました

ミエルのパン職人

井上 真琴さん（赤名）

パン作りを始めたきっかけは？

本当に偶然なんです。フロンティア赤名に入社し、パン工房に行ってみないかと言われて。先輩から基礎を学び、菓膳パンを焼いていました。

もともとモノ作りが好きで、楽しくて自分の性格に合っています。その時々で状態で焼きあがりが変わるので、毎日反省しながら「今日はちよつとこうだったから、こう変えようか」とか、飽きることはないですね。

新商品の開発は？

自分のアイデアで焼きあげ、出来たものをスタッフ全員に食



一つひとつに心を込めて

べてもらうんです。全員が美味しいと言ってくれたものだけ商品化します。出身地も年代も様々なので、間違いないと思います。

私が店頭にいらないので、お客さんの声や反応はスタッフが伝えてくれるので頼りになります。

一番の自信作は、低温長時間発酵の食パンです。発売してしばらくは売れませんでした。去年あたりから人気が出始め、今では、遠くから何10斤と買いに来られたり、三次市のiまるシエでも人気で、今日も10斤が30分で完売しました。

これからの方向は？

学生の時に飯南町を離れ、Uターンし、改めて水やお米、野菜がとても美味しく、どこにも負

けないと確信しました。パンもそのひとつになれば良いと思っています。飯南町の美味しい食材を取り入れ、低糖質で健康志向に合ったもの、野菜を沢山乗せるなど、視覚的にも健康を意識した商品を開発したいです。生産者さんとの繋がりも増やしていきたいです。生産者から「こういう野菜を作ってみただけ使える？」とか、逆にこちらから「こういうメニューを作りたいけど何かある？」など、双方で繋がれるといいなあ。これを機に、声をかけてくださると嬉しいです。

それから、商品を外に持って行くことも大事ですが、買いに来てもらうことも大事だと思っています。三次方面からの流れも、少しずつ増えています。



これからを語る井上さん

今月の表紙写真



飯南町で20年間パンを焼き続けているミエルのパン工房の井上さん。まっすぐにパン作りと向き合う姿は、まさに職人。言葉の一つひとつからパンにかかる情熱が伝わります。思いのこもったミエルのパンを求める人が、さらに広がっていくことを期待しています。

編集後記

この数か月間で、「新しい生活様式」という言葉を頻繁に見聞きし、目にするようになりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために政府が出した指針であり、自粛要請解除後、多くの企業・会社・飲食店・各種の商業施設や学校などが、これに沿った対応を行いながら、営業や活動を再開しています。

私たちは、他の人々との集団の中で生活し、人との触れ合いや交流を大切に暮らしています。皆と一緒に、学び・働き・遊ぶ中、今は控えるなければならないとされる「密」もまったく意識せず、楽しく共に過ごしてきていました。

しかし、今回のコロナ禍の中、今まで当たり前のこととして、普通に行ってきたことが見直され、「新しいルール」・「新たな制約」の中で生活をしなければならなくなりました。

反対意見もあるかと思いますが、自分や大切な人、社会を守って行くためには必要なことだと思います。

見えない敵との難しい戦いですが、負けないよう頑張ります。

議会広報編集委員 高橋 英次